

越前町議会・令和6年9月定例会一般質問【伊部良美議員】

(令和6年9月4日 午後0時59分 開始)

○11番(伊部良美君) 台風10号による日本各地で被災に遭われた県民の皆さん方にお見舞いを申し上げ、一日でも早い復興に期待をいたしたいと思っております。本町におかれましても、改めて国土強靱化に平素から備え、取り組まなければならないかと思われております。

青柳町長、2期目を前にしてこの4年間、自分では町政に取り組まれてきて、どのように評価されていますか。コロナ対策で始まり、昼夜問わず要支援対策や経済対策など、大変な思いをされたかと思っております。また、明るい材料として、丹生高校野球部の21世紀枠で甲子園出場に、本町にも明るい話題の提供にも一石を投げられたことかと思っております。また、小・中学校の統合にも、町長として、まずは四ヶ浦小学校と城崎小学校が越前小学校として、来春から統合が決まりました。町長自身も、まだやり残した仕事もあるかと思っておりますが、町民の声に耳を傾けられ、残された時間に身を粉にして取り組まれることに期待をいたしております。

それでは、議長のお許しをいただいておりますので、質問に入らせていただきます。

まず、かれい崎田原町駅行きのバスの路線の廃止について伺いをいたします。

この路線が、本年9月30日をもって廃止をするように伺っているが、特に越前地区で利用されていた学生の皆さんの足を、町としてどのように考えておられるのかお尋ねをいたします。

○議長(佐々木一郎君) 町長。

○町長(青柳良彦君) それでは、伊部議員のご質問にお答えいたします。

福井鉄道は、運送業における2024年問題により、恒常的な運転士不足が深刻化したことから、利用状況等も鑑みて、本年9月末日をもって、かれい崎田原町間を運行する福浦線の廃止を発表いたしました。

本年6月定例会の吉田議員の一般質問でも答弁いたしましたとおり、廃止の意向を受けて、町では利用者の大半が丹生高校に通う学生ということから、通学に支障を来さないような路線の調整を求めるとともに、福井方面への通学、通勤に配慮した電車への接続について要望いたしました。

要望を受けて福井鉄道は、ハピラインの北鯖江駅まで運行する鯖浦線について、織田バスターミナルを発着する7便は現行どおり陶の谷経由とする一方、かれい崎を発着する3便を陶の谷経由から上戸経由にすることで、丹生高校生の通学手段の確保を図りました。また、福井方面へ向かう交通手段として、神明駅で電車の福武線に乗り換える利用者が多いことから、朝の通勤、通学の時間帯に、神明駅発の福武線を1便増便することとしました。

町といたしましては、鯖浦線の再編と福武線の増便は、福浦線を利用されている方を考慮した代替交通として十分検討していただいたものと考えております。

以上です。

○議長(佐々木一郎君) 伊部良美君。

○11番(伊部良美君) これ学生の足を核として鯖浦線の再編の話伺いましたが、私が耳にすることとして、これは学生のことでありませんが、現在、福浦線の朝

一番の便を利用する人がいる中、減便ではなく路線の廃止に至ったことに対して、利用している便と分けて考えることはできなかったのかと聞いてもおります。

それでは、2問目の福浦線の定期代の37万2,280円、そのうち町の補助金15万6千円で、保護者負担が21万6,280円、今回の鯖浦線と福武線を乗り継いだ場合、定期代は年間45万9,000円、そのうち町の補助金19万9,400円、保護者の負担は25万9,600円、保護者の負担増しは4万3,320円、町の補助金は4万3,400円の増額。この福鉄会社の経営の理由によってだけで、弱者の高校生やお年寄りの病院へ通院される皆さんの意見が反映されていないことが残念でなりません。

福浦線を利用して福井方面の高校に通学している学生が、神明駅から電車に乗り換えることになると、今までのかたい崎田原町間のバスの定期券より、神明駅経由で田原町へ電車に乗り換えて行かれるほうが料金が高くなり、保護者の負担が多くなると思われるが、幾らの負担増しになるのか、また、町は負担増しについてどのように考えておられるのかお尋ねをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） お答えいたします。

今ほどのご質問ですが、本年8月末現在で、通学支援の補助金を申請している人で、10人の方が福浦線を利用されております。そのうち、金額の負担につきましては、伊部議員がおっしゃったとおりでございますが、保護者の、重複しますが、最初から読み上げますと、厨田原町間を利用されている方の場合、定期代は年間37万2,280円、そのうち町の補助金は15万6,000円で、保護者負担は21万6,280円になります。鯖浦線と福武線を乗り継いだ場合、定期代は年間45万9,000円、町の補助金は19万9,400円、保護者負担は25万9,600円で、保護者の負担増は4万3,320円になりますが、町の負担増も4万3,400円の増額になります。

令和5年3月定例会の伊部議員の一般質問でも答弁させていただきましたが、今後も運行事業者が経営改善を目的に定期券の料金等を改定すること、また、路線の見直しにより料金が高くなることは十分に考えられることですが、引き続き、現行制度の枠組みの中で支援をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） この福浦線の定期代37万2,280円、そのうち町の補助金15万6,000円で、保護者の負担が21万6,280円、今回、鯖浦線と福武線を乗り継いだ場合、定期代は年間37万2,280円から45万9,000円となります。そのうち町の補助金19万9,400円、保護者負担は25万9,600円、保護者の負担増しは4万3,320円、町の補助金は4万3,400円の増額、運行事業者である福井鉄道の経営に関する事情によることとはいえ、子どもを高校に通わせる保護者に寄り添っていただけなかったことが残念であります。

これは運行事業者に対して思うことですが、鯖浦線と福武線の乗り継ぎをお願いする中で、定期代も8万6,720円の負担増しを求めることになり、公共交通機関として、もう少し利用者のことを考えてほしかったと思っております。

町として、繰り返しになりますが、今回の負担金の増額に対して、将来の人口減少社会を担う学生さんたちのために、愛の手を差し伸べる意味でも、増額に対して私は全額支援してあげるべきではないかと考えておりますが、よろしく願ひ

をいたしたいと思っております。

3番目に、日赤病院へ通院される患者さんの足については、デマンドタクシーチャイソコえちぜんの利用では難しいと思われませんが、日赤病院から送迎バスを出してもらうとか、または、町が民間業者に委託して、西田中から日赤病院まで直行便を運行するなど、行政としてバス路線の廃止に伴う支援を行うべきかと思われませんが、町としてのお考えをお尋ねいたします。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） それでは、お答えいたします。

越前地区から公共交通を利用して福井赤十字病院へ行く方法は4つあります。1つ目は、乗り換えなしで行く方法としてタクシーの利用です。2つ目は、福井鉄道の鯖浦線から神明駅で福武線に乗り換えて、赤十字前駅で降りて歩いて行く方法です。3つ目は、鯖浦線から北鯖江駅でハピラインに乗り換えて、福井駅で降りてタクシーまたは京福バスで行く方法です。最後は、コミュニティバスや鯖浦線に乗り、織田バスターミナル、または、西田中バスターミナルから京福バスの予約制の乗合タクシーはやほや号に乗り換え、プラント3まで行き、京福バスの清水グリーンラインで行く方法です。

いずれにしましても、タクシー以外乗換えるの必要になり、多少手間を要することになりますが、現状運行している公共交通のご利用をお願いしたいと思っております。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） これ通院される皆さんは、まず高齢者である方であると同時に、歩くことにも不安を抱えている方だと思っております。ただいま日赤病院へ行くための4つの行程表を教えてくださいましてありますが、乗り継ぎやバスの待ち時間、駅から歩いていくにも、歩くにも無理にあたる患者さんのことを考えると、1つ目のタクシーを利用することがベターなのかもしれませんが、毎回となると、年金生活をしている方からすれば、大変なことかと思われそうです。

そこで、日赤病院へ行く方法として、日赤病院へ通う数人の人が、まとまって病院へ行くようにして、車は町内のタクシー事業者の小型タクシーを利用したり、利用する人はコミュニティバスなど、町内を運行する公共交通を利用して、西田中のバスターミナルまで来て、そこからタクシーを利用するというような感じで、西田中バスターミナルから乗り合いで行くことで、1人当たりの料金も安く済むと思われそうです。

そこで、利用者がスムーズに利用できるように、町からもタクシー事業者に対して、このような方法でタクシーを利用するかもしれない町民がいること、また、予約の電話があった際には、親切丁寧に対応してもらいたいといったことについて、事前の働きかけをお願いしたく、このことを要望して、私の質問を終わらせていただきます。

また、私も議員生活を長年やってこられてきていますが、こんなに多くの傍聴席を埋められたことは初めてのことであります。これほどまで関心をお持ちの方がおられることは、高校生のお子さんをお持ちの父兄の方、病院生活をされている方、弱者の皆さんの声を反映されるのが政治だと思っております。

ぜひ、皆さんの今日までの熱意を組んで取り組まれて、少子化現象の歯止めにもつながる大きな課題かと思われるので、ぜひ、今から検討をされ、取り組んでもらいたいと。通告にもありませんが、町長の皆さんへのお言葉がありましたら、頂戴を承りたいと思っておりますがいかがでしょうか。

○議長（佐々木一郎君） 答弁しなはる。はいどうぞ。

○町長（青柳良彦君） 今ほどの質問にお答えしますが、路線バスの減便、廃止は、地域住民に取りましても、町に取りましても、大変大きな問題であると認識しております。今回は、越前町のみならず福井県内のあらゆる路線の見直しが行われる見込みでもあると聞いておりますし、また、バス会社のほうから経営陣がこの役場へ出向いていただいております。

その中におきましては、現状、今、バス会社は、いわゆる収益の柱である貸切りバスの運転手を路線バスに回してまで、何とか福井県内の路線バスを維持している状況であると。このまま続くと会社の存続にも影響してきて、私はそこで思いました。今、こういうバス事業者が、もし倒産でもなった場合には、この路線、今の福浦線とかそういったレベルでなく、福井県中のこのバスが止まってしまうというような状況に、もうそこまで追い込まれているような事業者の言葉でございました。ものすごくそれは、私、真剣に深刻に受け止めました。ということは、私も、今、交通弱者の方を切り捨てるような形になってしまっていると思われていますが、伊部議員は。でも、私も断腸の思いで、そういった思いを受け止めまして、何とか電車にしては神明駅から1便増便していただいたとか、路線を少し工夫していただいた。そういったことも一生懸命熱心に説得というところではありますが、お話をさせていただいて、やっと今、ここへたどり着いたという形でございます。

本当に、これからまた路線バス、皆さん本当に使っていただきたいというふうに思っております。それが一番、路線バスを残す近道ではないかなというふうに私思っておりますので、利用される住民の皆様、これからはまた利便性を考慮して、また、バス会社とも協議しながら考えて、公共交通の在り方についても進めていきたいというふうに思っておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） ありがとうございます。

とにかく、こういう弱者の皆さんの足を、ぜひ、これからいろいろ町サイドにお願いをすることもありますが、ぜひとも耳を傾けて、温かい返事を答弁されるようお願いいたします。

次に移ります。

荷さばき施設建設予定地の周辺整備についてお伺いをいたします。

荷さばき施設の建設について伺いたいと思います。

荷さばき施設の建設について、いよいよ具体化され、建設の規模などもほぼ決まり、これからは県・町と協議しながら、漁業組合を中心にして進められるものかと思っておりますが、計画されている73台の駐車場では、観光の見学に訪れたお客に対する駐車場が狭いように思われるが、町としてどう思われているかお伺いをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） それでは、伊部議員のご質問にお答えいたします。

今回、越前町漁業協同組合が整備を計画している荷さばき施設は、食品事故のリスクを除去、または低減するための衛生管理手法であるハサップに対応した高度衛生管理型荷さばき施設で、早期の事業採択に向けて、国・県に対し要望を行っているところです。

議員ご指摘の駐車場については、大樟荷さばき施設が仲買人等の車両で臨港道路

が渋滞し、通行に支障を来している現状を踏まえ計画したものです。現在のところ、事業主体である漁業協同組合からは、見学者を受け入れるための施設整備についての計画は示されていませんが、いずれにしても、駐車場の整備については漁業協同組合で検討されるべきと考えています。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 現在のところ、事業主体である漁業協同組合から、見学者を受け入れるための施設整備についての計画を示されていませんと言われていたのですが、計画されている建物の競りをするとところを、見学する人のために、2階に当たる建物の周辺に観覧をされるように設計されているように伺っているが、町と漁業組合にとって重要な案件かと思われしますので、検討されるようにしていただきたいと思っております。

次に、船揚げ場の臨港道路と国道305号の乗り入れ口が、大樟と道口と2本ありますが、どちらにしても狭く急勾配と思われそうですが、勾配は何%ぐらいですか、お尋ねをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 最初に大樟側ですが、道路幅員が6.5メートル、勾配が8.8%で、延長が34メートルです。次に、道口側ですが、道路幅員が5メートル、勾配が10%で、延長が20メートルです。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 仮に、国道305号を走行している車両と魚を積んだ保冷車なりが出会うと、保冷車がこの急勾配の坂道で一旦停止をされると思われそうですが、発進される場合に荷崩れの現象が生ずることも予想されますが、町としてどのように思われているかお聞かせください。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 臨港道路から国道305号へのアクセスは、議員ご指摘の路線以外にも、道路縦断勾配が緩やかな路線があり、保冷車等の積載の状況に応じてルートを使い分けることにより、荷崩れは避けられるものと考えております。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 私の質問は、大樟、道口道路の勾配について、荷崩れ等に対して問題があるのかと説明を求めているのに対して、道路縦断勾配が緩やかな路線があるとの説明で、この道路は曲がりくねっていて、南のほうへ行かれる保冷車からすれば遠回りになるかと考えられるので、荷さばき施設を建設後に関係機関と協議し、道路改良についても検討していただきたいと思っております。

私は、大樟よりも道口のほうが、駐車場を広げるのも、緩やかな勾配の道路や道路拡幅の改良工事をするのであればと思われそうですが、町としてどんな考えをしているのかお伺いをいたします。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 先ほどの答弁のとおり、駐車場については、事業主体である漁業協同組合において必要性を検討すべきものであり、道路改良につきましても、道路管理者である越前漁港事務所によりますと、道路改良についての要望や計画もないことから、町としましては、荷さばき施設開設後の周辺道路の通行状況を注視してまいりたいと考えています。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 将来、嶺南は敦賀、嶺北は当地のこの場所に集約されるように聞いておりますが、そういった考えを踏まえて、漁業の町を中心に観光がよみができるまちづくりを望まれるべきかと思っておりますが、町としての力強いお言葉を賜りたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（水島博之君） 現在、嶺北地域には、越前町漁協、河野村漁協、県漁連が開設している三国港市場及び越廼市場の4つの産地市場があります。県が作成した浜の活力再生広域プランでは、水揚げの減少に伴い、産地市場としての経営の維持が将来的に困難と考えられる河野村漁港と越廼市場において、越前町漁港を核とした再編計画が検討されています。

仮に計画どおりになった場合は、水揚げ金額が県下最大を誇る産地市場であることから、入荷によるスケールメリットを生かした魚価の向上や、観光地としての魅力の向上も見込めるため、県に対して、関係者の合意形成に向け協議を進めるよう働きかけていきたいと考えていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） 全く答弁のとおりでございますが、建物の設計などから考えると、私は同時進行すべきかと思われるので、今後、漁業組合から町に対して要望や計画がありましたら、町としてぜひ協力をお願いをいただきたいと思っております。将来は河野村漁協と越廼市場において、越前町漁協を核とした再編計画もあり、県下最大を誇る産地市場であることから、まさしく漁業と観光地として呼び戻す拠点になると思っておりますので、町としてもしっかりと取り組んでいただきたいと思っております。

これで私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

（午後1時24分終了）